



元素記号 缶バッジ

1回 ¥100 (2個入り)

～第4弾～



<p>地球上では極めて少なく、隕石に多く含まれています。恐竜が絶滅した時代の地層で多く見つかるため、巨大隕石の衝突があったと考えられています。</p>	<p>原子力電池に使われており、人工衛星の電源などの宇宙開発や医療分野の場面に用いられています。</p>	<p>金属類の中では、最も軽い元素。非常に柔らかく、水や空気と反応します。リチウムイオン電池の材料として有名です。</p>	<p>電気を通す導体と、ほとんど通さない絶縁体との中間の性質をもつ「半導体」です。コンピュータなど多くの電子機器に用いられます。</p>	<p>独特のにおいがする硫黄泉ですが、あれは硫黄化合物の匂いで、硫黄自体は実は無臭です。ゴムの品質をよくする役割もあります。</p>
<p>常温で安定した性質を持ち、優れた耐腐食性や耐熱性が特徴の金属です。50円硬貨や100円硬貨、500円硬貨に使われています。</p>	<p>融点が低く沸点が高いため、液体でいる温度の範囲が最も広い金属です。発光ダイオードや半導体素材として使用されています。</p>	<p>無色無臭の気体であり、反応性の乏しいガスです。安定して地球上に存在する気体の中で最も少ない元素です。</p>	<p>加熱するとき美しい赤色を発するため、花火などの材料に使われています。</p>	<p>中性子を吸収しない金属。化合物は優れた耐熱性や耐食性が特徴で、セラミック包丁などの様々な用途に使われています。</p>
<p>非常に融点の高い、硬い金属です。耐熱性に優れ、ロケット部品やヒーターなど幅広く使用されています。</p>	<p>ジャガイモの断面が紫色に染まるデンプン反応の実験でお馴染みです。昆布やわかめなどの海藻に多く含まれており、医療品としても活躍しています。</p>	<p>胃のX線検査は、バリウムのX線が透過しにくく、体に吸収されにくい性質を利用して撮影しています。また、緑色の花火にも使用されています。</p>	<p>陶磁器に着色する黄緑色の顔料や、青色の光を吸収する性質から溶接用ゴーグルのガラスに使用されています。</p>	<p>磁石の原料として利用されており、ヘッドホンやスピーカーなど幅広く活用されています。</p>
<p>光ファイバーの芯として使用されており、光が通過すると、光の強度を増幅させる性質があります。</p>	<p>ランタノイド（原子番号57～71）で最後に発見された天然の元素です。名前はフランスのパリのラテン語名「ルテチア」が由来しています。</p>	<p>常温で唯一の、液体として存在する金属元素。以前は体温計によく使われていましたが、最近はデジタル体温計に変わりつつあります。</p>	<p>性質が鉛に似ており、鉛に代わる材料として使われています。その他、下痢止めや胃腸薬など薬剤にも使われています。</p>	<p>無色の気体であり、希ガスの中では最も重い放射性元素です。地中にも存在します。</p>
<p>アメリカの研究チームが発見した人工元素です。名前の由来は「アメリカ」で煙探知機に使われています。</p>	<p>水爆実験の後、アインスタニウムと一緒に発見されました。イタリア出身の物理学者「エリンゴ・フェルミ」にちなんで命名されました。</p>	<p>アインスタニウムにα粒子を照射して合成した人工元素。現在の元素周期表の原型を作った「メンデレーエフ」が名前の由来です。</p>	<p>キュリウムに炭素のイオンを照射して合成した人工元素。ダイナマイトの発明者「アルフレッド・ノーベル」にちなんで命名されました。</p>	<p>アメリカシウムとネオンから作られた人工元素。ロシアの「ドブナ」という地名から命名されました。</p>